

国際会議に行こう～第5回

スピーカーとして 参加した立場から①

当会会員 国際委員会委員 牧山 嘉道 (42期) ●Yoshimichi Makiyama

(1) まず参加、そしてスピーカーに

私は、国際委員会委員を務めるようになってから、そこで話題となるIBAやLAWASIAなどの国際会議にいつかは参加してみたいと思っていました。漸く最初に参加したのが、2009年のLAWASIA年次大会（ベトナム、ホーチミン市）でした。IPBAには2011年の京都大会をきっかけに参加するようになり、IBAにも2014年の東京大会に参加しました。

はじめのうちは、参加するだけで楽しく、また、各国の弁護士との国際交流に励むのが精一杯だったのですが、その一方で各セッションでは一聴衆に終始していたので、何か物足りなさを感じていました。そこで、より会議への参加意識を高め、会議へのかかわりを実感するため、スピーカーになろうと思った次第です。

(2) スピーカーとなる方法

それでは、どうしたら国際会議でスピーカーになることができるのでしょうか。スピーカーとなるには、主催者からの依頼や募集、日弁連の推薦など様々なルートがありますが、私の場合は、所属する委員会等での活動がきっかけでした。LAWASIAやIPBAには法分野ごとに部門（Section）、委員会（Committee）があり、会員は自分が希望するいくつかの委員会等に所属することができます。各委員会等では将来開催される会議におけるセッションのテーマに関するアイデアやスピーカーを募集しているので、テーマに関するアイデアを投稿し、そのスピーカーに応募することに



IPBA2015年香港大会にスピーカーとして参加
(着席しているパネリストの一番右が筆者)

したのでした。

(3) セッションの準備、スピーカー同士の交流

ここでは、IPBAで私が所属する委員会の1つであるハイテク・メディア・通信委員会（Technology, Media & Telecommunication Committee、TMT）を例に挙げてみましょう。IPBAの年次大会の際に、TMTでは、次年度の年次大会に向けて主催セッションのテーマやスピーカーについて検討を始めます。2014年大会で次年度について議論したとき、自分が好きなエンターテインメント、就中、映画はどうかと提案したところ、インドの弁護士（さすが、「ボリウッド」です）をはじめ、映画をテーマにしようということで大いに盛り上がりました。結局、2015年は映画産業をテーマとすることに決まり、行きがかり上、私もスピーカーとなり、日本と米国の映画製作について報告しました。

セッションのスピーカーやコーディネーターは、メールのやり取りや打合せを通じて準備を進めますが、この準備の過程は、スピーカーとしての発表に勝るとも劣らず、大変良

い経験となりましたし、関係者同士は、まさにチームメートのようになります。セッション終了後も交流が続き、メンバーが来日したときには会食するほど、親しくなりました。

(4) スピーカーの意義

スピーカーとなることで、やはり国際会議への参加の意識が全く違ってきます。確かに、スピーカーでないときの参加は気楽なもので、半ば物見遊山の風もなきにしも非ずでした。これに比べ、スピーカーになると準備は大変ですし、最初のうちは緊張感もありますが、前述したチームによる準備過程も含め、スピーカーになることにより得られる経験には大きなものがあります。

何よりも、スピーカーは会議参加の極めて大きな動機付けとなりますし、一度経験するとこれが大きなやりがいとなり、人によって

は病み付きになるかもしれません。国際会議への参加にあたっては、スピーカーに手を挙げることを大いにお勧めします。仮に苦勞することがあっても、それだけに得られるものも非常に大きいと思います。

最後に余談ですが、この連載の第3回で鈴木五十三先生も触れられている、LAWASIAのムートコートをご紹介したいと思います。これは、法学部やロースクールの学生チームによる模擬法廷・仲裁のコンペティションですが、その裁判官役・仲裁人役も募集しています。一度、模擬仲裁人を経験しましたが、大変勉強になるとともに、若い学生の方々の白熱した議論からは、大きなパワーをいただきました。こちら機会があれば是非参加されてはいかがでしょうか。

N
A

信頼と経験の テープ起こし。

速記センターつくばでは、テープ起こしはもちろん、すべての声をテキスト化いたします。
その他、会議録作成、議事録作成のお手伝いもさせていただきます。

📄 書き起こし事例(裁判関連): 調停記録 尋問記録 電話録音 面談記録

📄 取引先: 最高裁判所 地方自治体 法律事務所 等

💰 料金: 230円/分〜(税別)



お問い合わせ

株式会社 速記センターつくば

☎ 0297-82-5042 fax 0297-83-7190

〒300-1516 茨城県取手市藤代南1-5-1 原ビル202

(URL) <http://s-c-t.jp/> (E-mail) info@s-c-t.jp